



# ゆずり葉

にのみや学園  
二宮町立山西小学校  
学校だより 第124号  
☎ 0463-72-3777

## プロの音楽家から受けた指導

～ドレミソファミレソ～(校内音楽会に向けて)

### 子どもたちの力を引き出そう...

10月18日(金)、作曲家の富澤裕先生に來校いただき、各学年が体育館で合唱指導を受けました。富澤先生は5年生が歌う教科書教材の合唱曲『君をのせて』や6年生が歌う『COSMOS』の編曲者で、本校には2年前よりこの時期に合唱指導に来ていただいております。

当日は、歌う技能指導というよりは、子どもたちが持っている力を存分に引き出してくださるようなものでした。子どもたち自身、授業の最初と最後までそれぞれで合唱したときの仕上がりの違いを実感できるほどでした。富澤先生の子どもたちへの熱量に子どもたちも食いつくような集中力で応えたり、おもしろいところでは素直な反応をしたり、どの学年にもそんな姿が見られました。



### よりよい演奏を目指したい...

10月9日(水)、二宮演奏家協会にも所属している地域の音楽家で本校の卒業生である柴田知明さんに來校いただきました。この日、6年生の子どもたちは柴田さんのご専門である打楽器のご指導をいただきました。

子どもたちが取り組んでいる「剣の舞」は6年生にしかできない難易度の高い曲で、もっと上手になりたいという思いを受け止め、プロならではの楽器の音の出し方などを教わりました。

2時間続きの授業の中でパート練習をいつもより多く取る中、打楽器を担当する子が、柴田さんから小太鼓、鉄琴、木琴、シンバル、ティンパニの楽器別指導を受けていました。

いつもより長い時間とはいえ、楽器別となると子どもたちにはあっという間のひとときだったようです。少しでもよい演奏を目指して積極的に教わろうとする子どもたちの姿は、さすが6年生だなと頼もしく思いました。

やはりプロからいい音を出す技を教わった後の合奏は、子どもたちも今までより輝いていて一体感のある演奏に聞こえました。教わったことで自信が持っていて、もっと頑張ろうと思った子が多いのではないのでしょうか。



## 遠足・校外学習での貴重な体験

### 3年生の遠足

11月7日(木)、「はまぎんこども宇宙科学館」に行ってきました。プラネタリウムでは、ちようど理科の授業で学習している太陽の話、そして「夏の三角形」やカシオペア座、オリオン座などの星座の話、北極星の見つけ方などを教えていただきました。宇宙トレーニング室での科学体験なども3年生にはピツタリでしたので、とても楽しそうに過ごしていました。



### 1年生の遠足

11月13日(水)、「藤沢市湘南台文化センターこども館」に行ってきました。

いつもどおりの登校班での登校でしたが、いつものランドセルではなくリュックサック、中には美味しいお弁当とおやつが入っています。小学校に入ってから初めての遠足、子どもたちのワクワクドキドキがこちらにまで伝わってきました。

プラネタリウムでは「今夜の星空や秋の空」を説明していただきました。きつと日没後の空を眺めたくなっていることと思えました。

展示室では世界の遊び道具や楽器、科学実験など

様々なもので遊びました。他の学校の子どもたちや幼い来館者の方とも仲良く過ごすことができ、教室を離れて過ごした一日は大変有意義な時間となりました。

**6年生の校外学習**

11月19日(火)、小学校最後の校外学習に行ってきました。

午前中の見学地は国会議事堂です。到着するまでの道中、省庁のビル群や皇居周辺など、周辺地域が日本の中核となっていることを想起させるバスの窓からの景色は、子どもたちにとって非常に刺激的なものでした。

この日は衆議院の本会議場を見学することができました。傍聴席に座り、眼下に広がる国会議員や大臣などの席を見ながら説明を一生懸命聞きました。建設にかかった費用や建材の規模など、当時としてはいかに莫大な工事であったかを知ることができました。

午後の見学地は国立科学博物館です。古代の生物から現代の最先端技術まで、自然科学分野の展示を自分たちの興味の赴くままに見学しました。



**「コミュニティ・スクール」  
地域の方々と実感を伴って学ぶ**

本校に学校運営協議会が設置され、「学習支援」「校外での見守り」「環境整備」を軸に貴重な意見やお力添えをいただき6年目となりました。協議会の一員であり学習支援のコーディネーターでもある井上さんのはからいにより、将来の社会人・地域の担い手となる子どもたちは、地域の様々な立場の方々に出会い、貴重な体験をしています

**6年生 キャリア教育**

町内で営業されているベテランの美容師、毎日私たちの安全を見守ってくださっている駐在所の警察官、自分なりのテーマをもって動画配信されているユーチューバーなど、毎年様々な分野の方々にお越しいただいています。仕事の紹介だけでなく、就職の動機や職業観、未来へのメッセージなどいただく中、子どもたちが自分の生き方について考えるきっかけとなっています。

**【お米屋さんをお招きして】**

町内でお米の販売店を営んでいる原さんにお越しいただきました。

いわゆる「お米屋さん」の仕事が話題の中心かと思いきや、それだけにとどまらず、原さんの生き方そのものを語っていただき、子どもたちにとっては、「ものの見方・考え方」「人生観・職業観」といった深い学びを得ることができた1時間でした。「自営

業の家に生まれ育ったことについて感じていたこと」と「自らの興味関心の幅広さ・器用さゆえに得ることのできた様々な経験」「家業に関わるにあたって考えたこと、そして現在」という流れの中で、「興味あること、こだわっていることを突き詰めることはいいいことだけれども、自分なりに限界を感じて身を引くことは悪いことではない」「仕事はある程度身を入れて取り組まなければ成果も上がらないし、その本質を理解することもできない」「自分が『好き』と思えるものを器用に様々取り組む中で生きていく人もいれば、あまり器用でなくても地道に一つのことに取り組む中で深めていく人もいる」など、大人の階段を上り始めた6年生にとって、少々難しいけれどもうなずける部分も多かったようです。

現在お米屋さんを営んでいる原さん。それでもまだご自身は「進化中」でとのことでした。これからの時代、職業のあり方は未知数であり、これから生きる6年生に向けて、「なんでもできるよ!」とエールを送ってくださいました。



本紙の詳細は、本校ホームページにも掲載されています。こちらの利用が便利!!



【山西小HP】